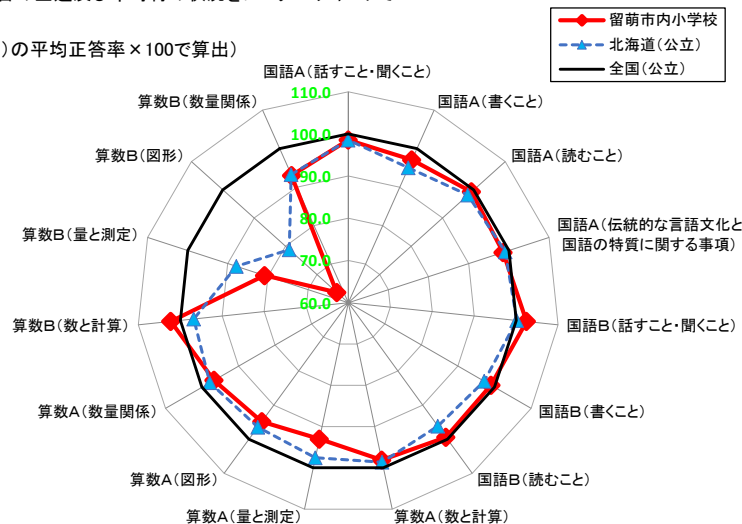


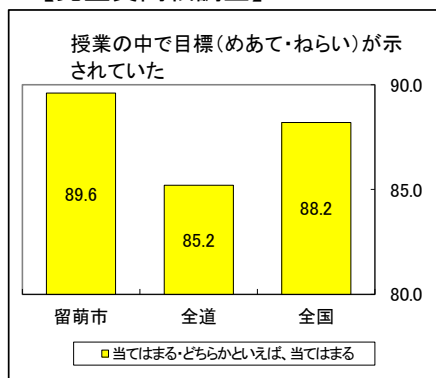
■ 留萌市内小学校の状況及び学力向上策 (学校数:5校、児童数:154人)

【教科全体の状況】

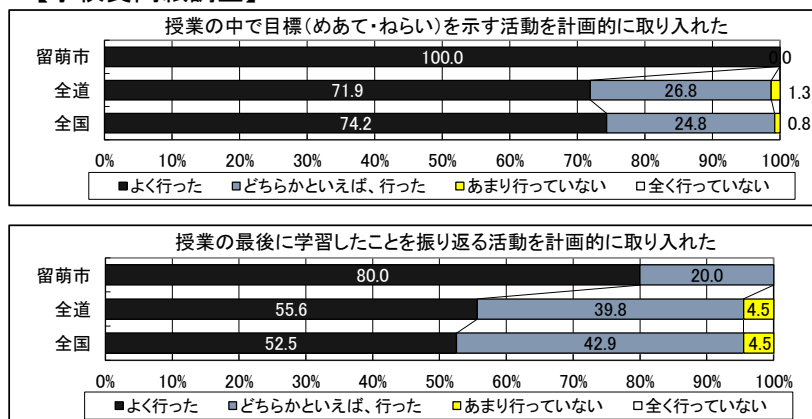
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」で全道を上回り、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国とほぼ同様になっている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回り、「書くこと」「読むこと」で全道を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国とほぼ同様であり、「図形」「数量関係」で全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Bでは、「数と計算」で全国を上回り、「数量関係」で全道とほぼ同様になっている。	○ すべての学校で、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動の充実を図ったことにより、目標を意識して学習を進める児童の割合が全国を上回り、学力の向上につながったと考えられる。 ○ すべての学校で、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、学習内容の定着が図られ、国語・算数の2つの領域で、全国を上回る成果につながったと考えられる。
児童質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【留萌市の学力向上策】

- ◎ 小中連携事業の実施による、9年間を見通した切れ目のない学校教育の充実
- ◎ 「小中学校学習補助員配置事業」による、少人数指導、習熟度別指導の一層の推進
- ◎ 長期休業中の補充的な学習サポートの実施

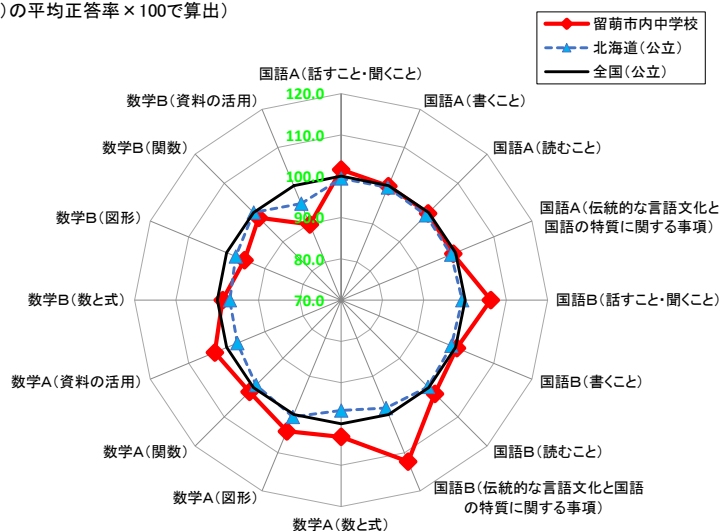
■留萌市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:127人)

【教科全体の状況】

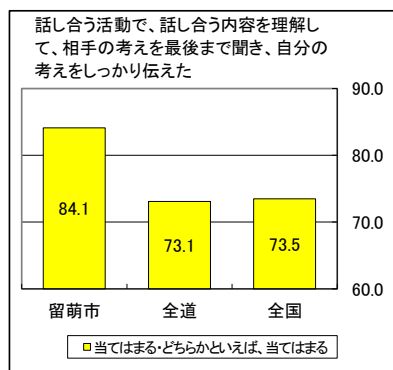
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで

示したもの

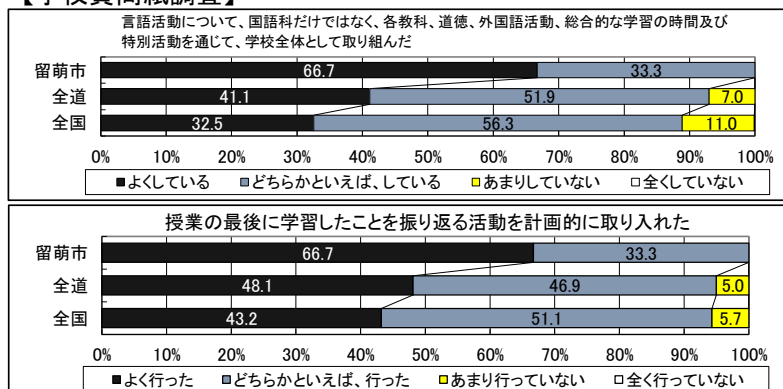
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回り、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全道を上回っている。 ○ 国語Bでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、すべての領域で全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「数と式」で全道を上回り、「関数」で全国とほぼ同様になっている。	○ すべての学校で、言語活動について、国語科だけではなく、各教科等を通じて、学校全体として取り組んだことにより、話し合う活動で、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝える生徒の割合が全国を上回り、学力の向上につながったと考えられる。 ○ すべての学校で、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、学習内容の定着が図られ、国語・数学の多くの領域で、全国を上回る成果につながったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「話し合う活動で、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んだ」「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【留萌市の学力向上策】

- ◎ 小中連携事業の実施による、9年間を見通した切れ目のない学校教育の充実
- ◎ 「小中学校学習補助員配置事業」による、少人数指導、習熟度別指導の一層の推進
- ◎ 長期休業中の補足的な学習サポートの実施